

高校ユニオン・教育総研共催学習会

いま「教職の魅力」を考える

講師 菊地栄治さん (早稲田大学教授)

日時 2026年2月14日(土)14:00~16:00 (13:30開場)

会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ 4階第1研修室
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

参加無料 どなたでもご参加いただけます

申し込み [右QRコード またはyunionn@aqua.ocn.ne.jp](mailto:yunionn@aqua.ocn.ne.jp) まで



静岡県高等学校しようがい児学校ユニオン



教員不足が深刻です。静岡県においても、産休代替さえ見つからず、隣県にまで声掛けをしなければならない実態があります。ひと昔前であれば、大学卒業後でも、教員採用試験をめざす講師やアルバイトなどがいるのがあたりまえでしたが、めっきり少なくなってしまいました。「教職＝多忙＝ブラック」という認識も広がり、最初からめざさなくなったと聞きます。また、大学4年の教育実習後に「自分にこの仕事は向かない」と判断する学生も増えたとも言います。実習態度も良好で「きっと良い先生になるだろう」という学生でさえ、民間企業へと就職していきます。なんとも、もったいないことです。学校という場は、それほどまでに魅力を失ってしまったのでしょうか。

現場にいる多くの教員は、多忙に苦しみながら、それでも職を捨てる決断にはいたっていません。金銭面の理由はもちろんですが、それ以上に「やっていて良かった」と言える瞬間が、辛うじて残っているからではないかと思えるのです。この仕事には魅力があり、できれば将来もいい形で繋いでいってほしい....。

今回の学習会では、その思いをいま一度考えてみたいと思います。何をどうすれば若者が目を輝かせて働く場になっていくのか、私たちにできることは何なのか、そもそも教育ってどういう仕事なのか....。

今回、講師には教育社会学がご専門で早稲田大学教授、教育総合文化研究所所長の菊地栄治さんをお招きします。明るい未来につなぐ教育のあり方と一緒に考えたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

**どなたでも無料でご参加いただけます。
一般の方、教職をめざしている学生さん歓迎します**

**高校ユニオンは、各種の教育課題に向き合い、
より良い教育のあり方を求めて、学習会を開催しています！**

過去の学習会テーマ

2025年 誰が教師の働き方を決めるのか～超勤訴訟と給特法～
(鈴木雅博さん)

2024年 子どもの権利を基盤とした学びのあり方 (池田賢市さん)

2023年 超勤・多忙解消のために「定額働き放題」をなくそう
(北村智弘さん)

2020年 これからどうなる 新学習指導要領 観点別評価 共通テスト
(鈴木秀幸さん)

2019年 考えてみよう インクルーシブのこと (一木玲子さん)

2017年 アクティブラーニング「学びの共同体」に学ぶ (和井田節子さん)

2016年 新テスト導入と新しい評価について (鈴木秀幸さん)

2015年 職務評価の給与への反映 (高校ユニオン執行部)

2014年 高校シンポジウム 達成度テストをどう考える！
～高校教育はどう変えられようとしているのか、

われわれはどんな社会に向かっているのか～ (本間正吾さん)

2013年 高校シンポジウム 部活動のあり方について (高校ユニオン執行部)

2012年 高校シンポジウム 原子力事故防災を考える (柴口正武さん)

高校ユニオン（正式名称「静岡県高等学校しょうがい児学校ユニオン」）は、1990年結成の静岡県の県立学校教職員をおもな組織対象とする職員団体です。私たちは、山積する教育課題の改善、賃金や休暇制度の改善、「平和・人権・環境」の尊重、自由で風通しの良い職場、創造的な教育環境をめざして活動しています。

静岡県高等学校しょうがい児学校ユニオン

静岡市葵区追手町45 日興ビル 054-253-7141

yunionn@aqua.ocn.ne.jp

